

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和 6年 3月 15日

事業所名 ザ・イエローハウス 保護者等数(児童数)56 回収数 40 割合.71%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36	3	1		・今3人だがそれ以上だと狭いかも（体を動かす場合）。 ・よい広さだと思います。	・当事業所は基準を満たしたスペースを確保しています。 ・3人以上で運動をする際は安全に配慮して実施しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	38	2			・基準は満たしていると思うが担当の先生が専門職なのかわからなかったり、どの先生に専門性があるのかわからない。 ・専門性に関して、先生によって偏りはあるのかなという印象です。	・当事業所は、基準を超える人員の配置と、専門職を配置することで、各種加算を算定しています。 ・それぞれの専門性については、お便りなどで周知していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	38	2				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	40				・いつ来ても清潔で気持ちがいいです。	
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画、作成されているか	39	1			・集団生活は幼稚園で十分できているので、ここでは弱いところの訓練を重点的にしてほしいが、集団での活動がメインになっているような気がする。 ・子どもたちの好みに合わせておもちゃ作りの内容を決めてくれたりしたことに驚きました。ありがとうございました。	・複数の職員で多角的に子どもをアセスメントし、支援計画やプログラムを作成しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	36	1		3	・発達支援ガイドラインがぱっと思い浮かばず…。 ・「児童発達支援ガイドライン」はわかりませんが、子どもにとって必要な項目が適切に選択されていて、具体的な支援内容が設定されていることは確かだと思います。	・昨年度の評価を受けて個別支援計画の中にガイドラインに則った記載をし、ご説明しておりますが、より分かりやすくするために、下駄箱上にガイドラインを設置することにしました。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	38	1		1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	39	1			・通う子ども達の興味・関心・課題に合わせていろいろな活動が準備されていると思います。 ・毎回様々な活動をしてきているため、子どもが楽しく取り組んでいます。 ・子どもだけでなく、親も参考になることが多いです。 ・流れがある程度同じで、内容が少しずつ変わるところがいいなと感じています。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	28	2	11	9	・特に必要とは感じていません ・こちらの事業所に通っていて、質問事項の交流や機会があったほうが良いと感じることはないです。 ・他園との交流はありませんが、子どもの園との連携はとって下さっています。	・当事業所の活動上、そのような機会はありませんが、お子さんが在籍している園がそのような機会となっていることがあります。在籍園がないお子さんに関しては、ご希望によって様々な交流機会の場を情報提供しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	39	1			・説明はいつも丁寧にいただいています。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	34	2		4		・個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインに基づいて作成していましたが、説明が十分ではなかったため、今後は個別支援計画説明時に児童発達支援ガイドラインについてもご説明いたします。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	39		1		・いつも十分なアドバイスがあり助かっています。 ・親支援にとっても助けられました。 ・いつも適切なアドバイスをいただき感謝です。	・毎回支援後に担当者としてじっくりお話をする時間を設けると共に、個別にご相談いただいた際は、できる限り早急に対応しております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	39	1			・保育園の連絡帳のようにいつでも前を振り返ったり、積み重ねられるとイロローハウスの先生方にもっと子どもの「できた！」が伝えられると思ったのですが、各家庭でニーズが違うので難しいですね…	・当事業所では、お子さんの状況や課題、成長を共有するため、保護者様に同席していただく中で支援を行っています。支援内容やお子さんの発達について、ご質問がありましたら、いつでもご相談ください。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	39	1			・毎回のフィードバックや面談でいろいろ相談できたり説明していただけるので助かっています。 ・一度行っていただき、とても楽しかったです！ ・毎回こちらの伝えきれない思いを汲み取ってくれたり、言語化してくれたりと今の状況や課題を明確にしてくれているので本当に助かります。 ・とてもありがたいです。 ・困ったときに面談していただき、とても感謝しています。 ・いつも話を聞いてもらって助かっています。 ・丁寧な面談や助言をしていただき、本当にありがとうございます。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	4	8	8	・療育の時間中に保護者同士が別室で交流できる場を設けていただいたことがありますが、そのような機会がさらに増えるといいなと思います。 ・こちらの事業所で質問事項の内容の必要性を感じません。 ・短時間利用のためその必要と時間確保は困難だと思うので特に希望はしてません。 ・これから保護者同士が関わる機会があるとよいと思う。	・保護者同士がつながることができる機会や、子育ての有益な情報提供のための機会を増やしていきたいと考えています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	39			1	・いつでも相談や申し入れできる体制、迅速に適切に対応してもらい感謝しかありません。 ・相談しやすい先生方が多く、どんな時も温かく声をかけていただき、心地よかったです。 ・いつも相談しやすい雰囲気を作っていただき、助かっています。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	1				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	34	3		3	・きいろいおうち便り、見ただけでかわいく癒されます。いつもありがとうございます。 ・HPは不明、会報はもちろん口頭でたくさん情報発信はあると思うので判断できません。 ・会報をよくいただいています。	・『きいろいおうち便り』にて様々な情報を発信しています。 ・自己評価の結果はホームページに掲載しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	39			1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	37				3 ・マニュアルが策定されているかはわかりませんが、その都度対応を知らせてもらっているのが十分だと思います。 ・訓練等行われています。お休みの連絡がたまに通っていないことがあるので、チェックの仕方等どうなっているのかな？と思うことがありました。	・マニュアルはファイリングをして下駄箱の上に設置し、保護者様にいつでもご覧いただけるようにしております。 ・休みの連絡の漏れがないように、システムの導入などを検討していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39				1 ・避難訓練への参加が難しい（したがない）子に対しても、事前の対策をしっかり練ってくださり、参加することができました。	・今後も年2回の避難訓練を実施する予定ですので、ご協力よろしくお願ひいたします。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	40				・いつも楽しみにしています！ ・通所2年目になり、子ども同士や先生との絆が深まったと思います。本人もたくさんほめられて自信を持つことが増え、生き生きするように見えます。 ・親子で楽しみにしております！ ・満点です。本人、保護者共に今や幼稚園より楽しみであり、期待が持っています。 ・毎日行きたい！というほど楽しみにしています。 ・とても楽しみにしています。 ・しっかり担当の先生が固定されていて親とは違う信頼関係が成立している。 ・とても楽しみにしています。 ・週一回なのでまだ緊張した様子があります。でも楽しんでます。 ・毎週とても楽しみにしています。 ・大満足です！	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	40				・先生全員に温かいサポートをしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。 ・これからもよろしくお願ひします！ ・他の事業所に行ったことはありませんが、これまでの子どもの成長と親へのサポートを考えるとこちら以上の場所はないと感じています。 ・親はもう少し個別に特化した訓練（弱ところの支援）をしてほしいが、本人が楽しんでるのでいいのかなとも思う。 ・大満足です、いつもありがとうございます。 ・とてもありがたいです。いつも相談させていただき、気持ち少し楽になります。 ・今年で卒業するのが嫌で嫌でしょうがない…出来たら中学生とかまでやってほしい…（笑） ・他害があった場合は被害を受けた子どものケアも忘れずにお願ひします。 ・親、子どもと本当に助けられていて感謝しております。 ・通わせていただけてとてもよかったです。今後もよろしくお願ひいたします。 ・担当の先生はもちろん、すべての先生が見守って下さる温かい場所だと感じています。この一年で子どもが大きく成長しましたし、親にもたくさん寄り添っていただき、感謝しています。	当事業所では、お子さんの“楽しい”という気持ちを大切にしています。今後も、お子さんが自分のままで安心して楽しめる環境を提供できるよう、職員一同努力してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6年 3月 15日

事業所名 ザ・イエローハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	②	職員の配置数は適切である	9			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		・掲示物を少なくすることや、危険個所をカバーすることなど、子どもたちの特性に応じた環境設定をしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		・毎朝清掃している。 ・毎朝掃除を行っており、グループ終了後に玩具の消毒をしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	7	・まだ行っていない。	・現在第三者評価は行っていないが、定期的にコンサルタントに運営について助言をもらい、業務改善に繋げている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		・事例検討会がこれに当たると思う。他職員が受けてきた研修内容の共有もしている。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		・見学時に、設定された項目に合わせて子どもと遊び、記録を行うことで、客観性がある程度担保された行動観察を行っている。 ・必ず複数人で計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		・必要に応じて新版K式発達検査2020を使用している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		・職員で活動プログラムを話し合う際に、お子さんの目標を伝え合うことで、支援計画に沿った支援を実施できるようにしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・チームで、子どもの状況に合わせてプログラムを立てている。 ・毎回、打ち合わせと振り返りの時間を取り、子どもの状況に合わせた活動プログラムを都度考案している。 ・活動前後の確認と立案がルーティンになっている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		・その子のためのオリジナルプランを考えている。 ・繰り返し取り組むことで効果上がるものもあるため、数回同じ活動が続くことがあるが固定化はしていない。 ・子どもに合わせてプログラムを工夫している。	・同じ活動を繰り返すことが有効なお子さんもいるため、その場合は、活動を繰り返す目的を保護者様に丁寧に説明していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	9		・チームで子どもの状況に合わせている。 ・グループによっては毎回の活動で個別と集団がある。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		・毎日欠かさず行っている。 ・必ず話し合って、当日の確認をする時間を設けている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		・毎日欠かさず行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		・見立てを中心に記録を取っている。 ・毎回ケース記録をとっている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9			
関 係 機 関 や 保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		・必要に応じて児発管や管理者が参加することになっている。 ・必要があれば出席できる体制を取っている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9		・積極的に連携を取っている。 ・保護者の希望がある場合は、在籍園と連携している。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・医療的ケアが必要な子どもの通所がない	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者との連携関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	・医療的ケアが必要な子どもの通所がない	/
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		・新しく集団に入園するお子さんに関しては、希望に応じて情報提供書の作成をしている。	
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1	・訪問や、小学校就学に向けての引き継ぎ書も作成している。 ・個別支援計画に就学に向けてという項目を設けることや、引継ぎ会に参加すること、情報提供書の作成をすることをやっている。	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		・地域の保健センターや他事業所の職員の見学を受け入れ、情報共有を行った。 ・地域の児童発達支援センターで開催される研修に職員が参加した。	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		9	・週1回1時間の通所事業所であるため、実施していない。	・事業所の特性上、そのような機会を設けていないが、各自の所属園がそのような機会となっている。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	1		・職員の参加は難しいが、管理者が参加している。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		・サービス提供記録に活動内容の他に目的や手立ても書くことで、子どもの様子を共有できるようにしている。 ・毎回のフィードバックは丁寧にするよう心掛けている。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	2	・お子さんに対して同様、親御さん一人ひとりに合わせて声掛けや支援をしている。 ・ペアレントトレーニングの視点から、お子さんの様子をフィードバック時に伝えている。	・毎回のご利用時に保護者様の子育てについての悩みなどについてお話しする時間を取っている。今後は、それ以外の時間でのペアレントトレーニングの時間を更に確保し、支援していきたいと考えている。
保	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		・保護者からの相談を受けている。当日が難しくても改めて日程を決めている。 ・フィードバック時に保護者からの相談に応じることもあり、必要であれば別室で相談を受けることもある。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9		・昨年度の反省を活かし、保護者同士がコミュニケーションを取れる機会を設けてきた。	
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		・その場で相談を受けるか、日程決めをしている。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		・『きいろいおうち便り』を発行している。 ・『きいろいおうち便り』は毎回英語版も作成し、外国籍の保護者向けに渡している。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	9			
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		9	・今後取り組んでいくことを検討してもよい。	・事業所の特性や、利用者の個人情報等の問題があり、そのような機会は設けていない。
非 常 時 等 の 対 応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9			
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		・年に二回実施している。 ・子どもの特徴に合わせて訓練を取り入れている。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		・必ずアレルギーの確認をするようにしている。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		・食品は出さないが、小麦粉粘土等は米粉に変えるなどで対応している。 ・支援中、食事は提供していない。また、アレルギー児がいた場合は支援にはアレルギー物質を使用していない。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		・ヒヤリハット報告書で共有している。	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9		・着任時にしっかりと説明を受けている。 ・昨年度の反省を踏まえ、個別支援計画の書式に記載し、説明時に保護者に伝えている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。